

医学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

医学部では、本学の4つの基本理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）の下、人類の健康増進に資するための体系的な教育を行うことにより、豊かな人間性、高い倫理観および国際的視野を備え、医学、医療又は生命科学の実践および発展に寄与する人材を養成することを教育目標としています。

医学部では、この目標とする人材像に求められる具体的な能力（学位授与水準）を学科毎に定め、当該能力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に学士の学位を授与します。

保健学科の学位授与水準

保健学科では、医学部の教育目標に基づき、①豊かな人間性を育む全人教育、②保健医療に対する総合的視野と専門的知識・技術を身につける教育、③国際的視野を持った保健医療従事者の育成、④フロンティア・スピリットを持った指導者・教育研究者の育成、を教育目標として、次の能力をもつと認められる学生に対し、学士の学位を授与します。

【知識・理解】

- 保健科学・看護学のリーダーとしての幅広い教養と高い専門性を身につけている。
- 保健科学・看護学の実践者としての専門知識およびその知識体系を身につけている。
- 保健科学・看護学を取り巻く文化・歴史・社会・環境を理解することができる。

【汎用的技能】

- 多様化・複雑化する課題を発見し、その本質を理解できる能力を身につけている。
- 課題解決に必要な情報を収集し、分析・判断・解決できる能力を身につけている。
- 高い学問的および臨床的な探究心を有し、幅広く社会に還元することができる。

【態度・志向性】

- 保健科学・看護学をリードし、チーム医療を実践できる能力を身につけている。
- 保健科学・看護学の実践者・研究者として、社会的責任感と自己管理能力を身につけている。
- 多様化する価値観の中で、高い倫理観を有し、実践することができる。
- 生涯にわたって最新の保健科学・看護学を理解し、実践することができる。